

5 環境目標と実績

主要な環境活動について目標を設定し、環境負荷の継続的な低減に努めています。

省エネ空調やビル・エネルギー管理システム (BEMS) の導入、及びエアコンの適正温度設定や不要照明の消灯等の活動により、オフィス電力使用量の抑制につながりました。

項目	単位	実績			グループ環境目標		
		2007年度	2008年度	2009年度			
地球環境問題への取組み	オフィス電力	使用量	百万kWh	31.7	30.2	28.3	—
		単位面積あたり使用量	kWh/m ²	130.5	125.5	116.2	130以下 (2010年度)
	自家物流送 (特殊車両等を除く)	低公害車導入比率 ^{※1}	%	46	54	58	60以上 (2010年度)
		燃料消費率 (燃費)	km/ℓ	9.7	10.7	10.8	11以上 (2010年度)
	SF ₆ (六フッ化硫黄) 回収率	機器点検時	%	実績なし ^{※2}	実績なし ^{※2}	実績なし ^{※2}	98以上
		機器撤去時	%	実績なし ^{※2}	実績なし ^{※2}	100	99以上
	機器点検時の規制対象フロン回収実施率	%	100	100	100	100	
用紙使用量 ^{※3}	百万枚	114.0	114.1	127.9	事務用紙使用量の節約		
上水使用量	千トン	179.0	175.5	175.7	上水使用量の節約		
成への取組み	リサイクル率	産業廃棄物	%	89	87	91	90程度
		古紙	%	90	90	93	100

※1: クリーンエネルギー車と低燃費車のグループ会社保有車両総台数に占める割合。 ※2: 設備は保有しているが、機器の点検・撤去の実績がないもの。
 ※3: 用紙使用量はA4サイズ換算枚数。

6 環境会計

「九電グループにおける環境会計基準」に基づき、各社で算定した環境活動コストを集約しています。

2008年度比で投資額が約2倍となったのは、発電設備の効率向上対策など地球環境保全コストの増加が主な要因です。

単位: 百万円

環境活動の分類	主な活動	2008年度		2009年度		2009年度環境活動	
		投資	費用	投資	費用	項目	効果
地球環境保全	地球温暖化防止及び オゾン層保護対策等	496.3	119.8	1,393.2	55.5	温室効果ガス排出抑制量 ^{※1}	18.9千トン-CO ₂
地域環境保全	大気汚染・水質汚濁・ 騒音・振動防止対策等	13.4	828.1	10.4	1,042.6	オゾン層破壊物質排出量 ^{※2}	0.1 ODPトン
						SOx排出低減量 ^{※3}	4.0千トン
資源循環	産業廃棄物・一般廃棄物の 適正処理等	2.5	989.5	1.7	998.9	NOx排出低減量 ^{※4}	1.7千トン
						法令、条例に基づき適正に管理	
グリーン調達	グリーン調達で発生した 差額コスト	—	6.4	—	3.5	産業廃棄物リサイクル量	74.6千トン
						産業廃棄物適正処分量	7.2千トン
環境活動の 管理	環境教育、 EMS運用管理、 環境負荷監視・測定、 構内緑化 ^{※5} 等	160.6	294.6	7.5	303.4	古紙リサイクル量	0.9千トン
						一般廃棄物の適正処理	
環境関連研究	廃棄物有効利用等	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
社会活動	地域の環境活動支援等	0.0	4.0	0.0	3.3	環境講演会	50社 52人参加
						外部認証取得会社 (ISO14001, EA21)	17社
環境損傷対応	公害健康被害補償制度に よる汚染負荷量賦課金	—	160.0	—	210.0	EMSの第2~4段階への取組会社 ^{※6}	24社
						環境関連データベース項目数	858
合計	—	672.9	2,402.3	1,412.7	2,617.1	九州ふるさと森づくり植樹活動	25社延べ686人参加
						環境月間講演会	42社70人参加
						地域清掃活動	30社実施

(注) 四捨五入のため合計値が合わないことがある。

※1: 新エネルギー等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。 ※2: 各フロアのオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11重量相当に換算。

※3: ばい煙発生施設 (ボイラー等) において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。

※4: ばい煙発生施設 (ボイラー等) において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。

※5: 2009年度から「構内緑化」コストを「環境活動の管理」に計上 (「社会活動」からの項目間移動)。 ※6: EA21認証取得会社を除く。

- ビル・エネルギー管理システム (BEMS)
- 地球環境問題
- 自家物流送
- 低公害車

- SF₆ (六フッ化硫黄)
- 上水
- 循環型社会
- グリーンエネルギー車
- 低燃費車

- 環境会計
- 環境活動コスト
- 地球温暖化
- オゾン層
- 水質汚濁

- 資源循環
- 一般廃棄物
- 環境マネジメントシステム (EMS)
- 公害健康被害補償 (制度)
- 汚染負荷量賦課金

- ISO14001
- エコアクション21 (EA21)
- 環境月間

用語集の解説をご覧ください